

2016年度の事業報告書

2016年5月1日から2017年4月30日まで

特定非営利活動法人 ratik

1 事業の成果

学術専門書の電子出版事業については、新たに2点の新刊を発行し、前年度までの既刊12点（うち1点は無料公開）を加えた全14点の年間総販売冊数は264冊、グロスの総売上額は356,400円になっています。

ratikの取り扱う電子書籍の内容は比較的専門性が高いため、読者層が限られる面がありますが、著者と協力しながら当該分野・領域の研究者・実践家への普及を図り、一定の成果を感じています。また、今年度には、「日本教育新聞」の書評で新刊『子どもとむかいあう』を取り上げていただき、現職の先生方をはじめ、この本の潜在的な読者のみなさんに対し、これまでにない規模で書籍の存在をアピールすることができました。

元々ratikの電子出版事業は、大量生産・大量消費を前提とする印刷媒体での出版の製造・流通に対するオルタナティブとなるため開始されたものですが、現在「書く／読む」をめぐる状況は過渡的です。ratikでは、昨年度末よりオンデマンドによる電子コンテンツの印刷・製本サービスを始めましたが、読者のニーズに応えつつも「応分の負担」をしていただくことで、学術・実践のコンテンツをより広める努力を続けています。

ratikが有する編集・校正、制作の技術を生かし、企画立ち上げのところから参画してきた日本マインドフルネス学会の査読付き機関誌・電子ジャーナル「マインドフルネス研究」の編集事務局業務では、2016年末に待望の第1巻第1号の発行に至りました。2017年に入り、特集号を含めた2つの号からなる第2巻について、査読・審査の運営や、採択論文の編集・制作から校正・公開までの各種職務を果たしています。

また、同様に企画・編集・制作・公開を担当している〈身〉の医療研究会の機関紙「〈身〉の医療」については、第2号を完成させ、ratikのwebサイトでの公開を始めています。また、年次で開催される研究交流会を元に、第3号の企画・編集・制作を進めています。

さらに今年度は、業務の幅を広げる取り組みとして、国際日本文化研究センターから英語論文の和文翻訳のお仕事をいただいたことも特筆できます。

ratikでは昨年度から、関西大学・商学部・長谷川ゼミで学生たちが国内外で取り組んでいる「聞き書き作品」に関し、ratikとして編集・校正、制作面などでバックアップする取り組みを始めました。今年度は、過去分を含め、3カ年の完成作品の一部をratikのwebサイトで公開しています。「言葉の専門家」として「取材内容を適切に表現する」という点については、大学の学問環境の底上げの意味も込め、何らかの貢献ができれば良いと考えています。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に関わる事業

主に人文・社会科学系の諸学問や、学問に根ざす各種実践に係る専門図書の新刊を

電子書籍等として企画・編集・制作・販売する事業

事業内容	具体的な事業項目	(A)実施日 (B)実施場所 (C)従事者の人数	(D)受益対象者の範囲 (E)受益対象者の人数	事業費の金額 (単位：円)
電子書籍の 企画	既存文献等の探索	(A) 不特定	(D) 著者ならびに読者 研究者・実践家を 中心に広く市民一般	1,552,332
	学会、研究会等の聴講	14 点の電子書籍を販売		
	執筆者候補とのやり取り	2 点の新刊を発行 (発刊月)		
	編集会議	2016 年 9 月		
電子書籍の 編集・制作	編集・校正作業	2017 年 3 月	(E) 不特定多数 年間の書籍売上部数は 264 冊	
	電子書籍ファイルの制作	その他、学会・研究会の機関誌 (電子ジャーナル) 発行に伴う、 編集事務局業務、 学術・実践のコミュニケーション に関わる各種企画、編集、制作業務 を行っている (B) アウトプットの電子書籍は、 ratik の法人 web サイト上で販売 http://ratik.org		
電子書籍の 販売	販売システムの構築、改良	(C) 2 人		
	販売システムの運用			
	広告・宣伝活動			

上記の出版事業や、学術・実践の発展、ひいては豊かな市民社会の形成に資する情報を
 収集・整理・発信する事業

事業内容	具体的な事業項目	(A)実施日 (B)実施場所 (C)従事者の人数	(D)受益対象者の範囲 (E)受益対象者の人数	事業費の金額 (単位：円)
情報の収集	既存文献等の探索	(A) 不特定	(D) 研究者・実践家を 中心に広く市民一般 (E) 不特定	152,798
	学会、研究会等の聴講	学会・研究会の機関紙		
	研究者・実践家とのやり取り	(電子ジャーナル) 発行に伴う		
情報の整理	情報の体系化や重みづけ	情報発信や論文公開の準備		
情報の発信	自社 web サイト等での 情報発信 サイトの管理、更新	英語論文翻訳、 聞き書き作品の編集・校正など (B) ratik の法人 web サイト http://ratik.org あるいは 学会・研究会 web サイト http://mindfulness.jp.net/ http://minoiryoo.org/index.htm (C) 2 人		